

★ 提案21の賛成意見 ★

提案21に賛成を投じよう！家族の自宅での暮らしを守り、手ごろな価格の住居を保ち、ホームレス問題に歯止めをかけ、納税者のお金を守る。

人々はCalifornia州のどこで暮らしていけばいいのでしょうか。値上がりする賃料と上がらない賃金によって多くのことに手を付けられずにいることから、住宅危機に対する怒りが広まっています。誰もがこの影響を感じています。住民はコミュニティから追い出され、借主は不安定な状況に直面し、最も影響を受けやすい人々が最終的に路上生活に陥ってしまいます。借主のコミュニティでの消費量が減ることで中小企業は疲弊し、働き手は長い通勤時間を強いられています。収入のすべてが生活費に回ること、教師、店舗スタッフ、看護師らは、日用品、ガス、養育費などの基本的な生活費は十分に賄えるとしても、自分が働くコミュニティに住居を構える余裕はありません。急激に上昇する賃料が、15万人以上をホームレスとしての路上生活に追いやりました。この危機は悪くなる一方です。新型コロナウイルス感染症というパンデミックによって、数百万人の労働者が失業し、住居を失う危機に瀕しています。UCLAの研究によると、私たちはホームレスの急増に直面しています。

この危機の根本原因の一つを追跡することで、提案21は次を実現します：

● 納税者のお金を守る

2017年の研究では、わずか5パーセントの賃料の値上がりで2000人のLos Angeles住民をホームレスに押しやったことが判明しました。California州でのホームレス増加の負担は、納税者が支払っています。一人あたり年間\$35,000から\$45,000と推定されているホームレス関連費用は、持続可能ではありません。提案21は、住居を失う人を減らし、納税者のお金を守るものです。

● 家族の自宅での暮らしを守る

提案21は、子供、親、高齢者、エッセンシャルワーカーが自宅を維持できるようにサポートします。現在、子供たちは学校から追い出され、親は長い通勤時間を強いられ、高齢者は自分の手の届かない賃料に直面しています。

さらに多くの人々が路上に追いやられています。提案21は、コミュニティのメンバーに合理的で予測可能な賃料の値上げを提供するものです。

● 高齢者と退役軍人に安定をもたらす

高齢者と退役軍人は破滅的に高額な賃料に苦しみ、食事、医療、その他必需品には少しのお金しか残せずにいます。提案21は、地元のコミュニティが賃料の値上げを制限し、手ごろな価格の住宅を維持できるようにするものです。これによって、高齢者や退役軍人が自宅を維持できるように支援します。

● 単一家族向けの住宅所有者を守る

提案21は単一家族向けの住宅所有者を除外しています。住宅賃貸事業を行っていない場合は、提案21の影響を受けることはありません。

● 住宅費用を低く維持する

家族、教師、看護師は急騰する賃料のために住居を見つけることに苦労しています。提案21では、私たちのコミュニティが手ごろな価格の住居を維持し、新しい住居の建設を促進できるようになります。これによって、住宅がすべての人にとって手の届くものとなります。

● 大家の利益を保証する

提案21は大家の利益を保証します。家族経営の大家と借主に同等に公平です。

提案21への賛成は選挙で選ばれた公職者、労働組合、市民団体、国の社会正義推進団体、地域のテナント組合、法的支援団体などの幅広い連携によって支持されています。提案21は、家族、子供、高齢者市民、退役軍人が自宅を維持できるように支援します。詳しくはyeson21ca.orgをご覧ください。

DOLORES HUERTA、代表

The Dolores Huerta Foundation

KEVIN DE LEÓN、President pro Tempore Emeritus

California州上院議員

CYNTHIA DAVIS、理事長

AIDS Healthcare Foundation

★ 提案21の賛成意見に対する反論 ★

提案21は、住宅危機を改善するどころか悪化させる数百万人の人々が仕事を失い、単に自宅を維持することだけでも苦労している中で、私たちが最もしてはならないことは、解決策なくCalifornia州の賃貸住居保護を撤廃することです。これこそが、市民権リーダー、手ごろな価格の住居の提唱者、高齢者、退役軍人、事業団体や労務団体が幅広く連携して提案21に反対している理由です。

「提案21は、大家に入居者を立ち退かせることを勧めるもので、その結果、賃貸住宅の供給が減少し、住宅価格が上昇し、ホームレスが増加します。」 *Alice Huffman*、代表、California State Conference of the NAACP

提案21に反対票を投じる理由

California州住民は、住宅危機を一層悪化させるこの計画を却下すべきです。提案21は次を意味します：● 国内で最も強力な州全体の家賃統制法を損ねる ● 働き手を犠牲にして、手ごろな価格の住居の建築を止める ● 基本的な住居所有者保護を撤廃する ● 住宅の価値が最大20パーセント下降する場合がある ● 高齢者、退役軍人、身体障害者に対する保護を提供しない ● 賃料を下げ、ホームレスに歯止めをかける規定を含まない ● 選挙で選ばれたのではない委員会が極端な価格統制を課すことを許可する ● 地域の学校や防火対策など優先順位の高い対象用の州および地方の資金を年間数百万ドル削減する

二大政党のリーダーと団体が提案21に反対

反対者には次が含まれます：● California State Conference of the NAACP（全米黒人地位向上協会California州協議会）

● California Council for Affordable Housing ● Coalition of Small Rental Property Owners ● American Legion, Department of California（米国在郷軍人会California支部）● California 商工会議所 ● Women Veterans Alliance ● 約50の地区労働組合 ● United Latinos Vote ● California Taxpayers Association。本物の解決策を要求

有権者は二年前に同じ欠点を含む計画を圧倒的多数で却下しました。提案21に反対票を投じましょう。そして、手ごろな中級クラスの住居を建設することで人々に仕事を提供するなど、私たちの住宅危機に対する本物の解決策を求めましょう。事実NoOnProp21.voteでご確認ください

ALICE HUFFMAN、代表

California State Conference of the NAACP（全米黒人地位向上協会California州協議会）

MARILYN MARKHAM、理事会役員

California Senior Advocates League

ROBERT GUTIERREZ、代表

California Taxpayers Association（California州納税者協会）

★ 提案21の反対意見 ★

提案21は住宅費用を増加し、California州の経済回復を損ねる大きな欠点のある計画

計画21に見覚えがあるのは、これが60%近くのCalifornia有権者が2018年に却下したものと同一欠点のある計画だからです。

高齢者、退役軍人、手ごろな価格の住居に関する専門家はみな提案21に反対しています。数万人ものCalifornia住民が仕事に戻るため、屋根のある住処を維持するために苦労している時期に、住宅の利用がより難しくなり、手ごろな価格でなくなってしまうためです。

California Council for Affordable Housingは、提案21を「欠点だらけのアイディア。」としています。提案21は次のように状況を悪化させます：

解決策なく住宅法を廃止する

提案21は、California州の住宅不足に対処するものではありません。その代わりに、Gavin Newsom州知事が署名し、昨年施行した国内で最も強力な州全体の家賃規制法を損ないます。手ごろな価格の中級クラスの住宅を建設する計画も、公道のホームレス問題の増加に対処する計画も含まれません。

住宅所有者の保護を撤廃する

提案21は住宅所有者に対する基本的な保護を取り去り、規制者が単一家族用の住宅所有者に対して、一部屋を貸し出した場合の請求金額を規定できるようにするものです。数百万人の住宅所有者は、法人の不動産経営者のように取り扱われ、選挙で選ばれたのではない委員会によって施行される規制や価格調整の対象となります。

住宅の価値が最大20%下落

MITの無党派の研究者は、このような極端な賃料規制法案は住宅の価値を平均で最大20%下落させると推定しています。これは、平均的な住宅所有者で最大\$115,000の価値の喪失となります。California住民には、自分の自宅の価値や老後の資金を脅かす経済的失策をこれ以上受け止める余裕はありません。

高齢者、退役軍人、身体障害者に対する保護を提供しない
提案21には、高齢者、退役軍人、身体障害者に対する保護はなく、賃料を低減する規定も存在しません。退役軍人、

高齢者、社会的正義の支持団体および American Legion, Department of California (米国在郷軍人会California支部) は、これが現在私たちが最も必要としていないものであることに同意しています。

極端な規制を認める

提案21は、住居に関するほぼすべての面に関する極端で永続する規制を地方政府が策定できるようにするものです。例えば、借主が引っ越した後であっても、不動産所有者が市場価格で賃料を設定できなくなる、改修やアップグレードへの投資に支払うことができなくなるなどです。これは単純に行き過ぎです。

住宅危機を悪化させる

California州住民は、人生で最も破壊的な経済と公共衛生の緊急事態の最中に、家賃の支払いについて深刻な危機を経験しています。私たちが最も行うべきでないことは、新たな住宅の建設を止め、働き手を犠牲にし、経済回復を損なうこの取り組みを可決することです。

幅広い二大政党提携による反対

民主党および共和党は、提案21が危機を悪化させることに同意しています。反対者は次の通りです：California Council for Affordable Housing • Disabled American Veterans、California支部 • California Housing Consortium • Vietnam Veterans of America, California State Council • California商工会議所

本物の解決策を要求

私たちは提案21に「反対」を投じ、本物の解決策を求めるべきです。

提案21に反対票を

詳細は[NoOnProp21.vote](#)をご覧ください

EDWARD J. GRIMSLEY、州指揮官

American Legion, Department of California (米国在郷軍人会California支部)

LORRAINE J. PLASS、第三副指揮官

AMVETS, Dept. of California

PATRICK SABELHAUS、事務局長

California Council for Affordable Housing

★ 提案21の反対意見に対する反論 ★

提案21—ホームレス問題に対処するために必要な変化

提案 21に賛成票を投じることは家族が共に暮らせる自宅を維持することです。選出された指導者たちの強力な連合、Affordable Housing (適正価格住宅) の提供者、高齢者、退役軍人、ホームレス支援者は、提案21は家族の自宅を維持するに役立つという点において、同意しています。提案21は次を意味します：

- 数百万人の高齢者、退役軍人、現役の家族を守る
- ホームレスに歯止めかけることで納税者のお金を守る
- 適正価格住宅を維持する
- 単一家族向けの住宅所有者を守る

「提案21は高齢者が自宅を維持する助けとなります。彼らがホームレスにならないように、家族や友人の側で尊厳をもって生活できるように守ります。」Ernie Powell, Social Security Works California

「提案21は、様々な状況からの影響を受けやすい家族が自宅を維持するのに役立つツールを私たちのコミュニティに提供するものです。提案21は、高齢者、退役軍人、働く人々をサポートします。」Ben Allen, California州上院議員

「賃料の値上がりによりホームレスになる退役軍人は年々増加しています。提案21は、退役軍人がホームレスにならないように支援するものです。」Jillynn Molina-Williams、

Veterans Caucus California州民主党議長

「看護師、教師、消防士、日用品店従業員、ホテル従業員が自宅を維持するのを助けるために、あなたができる最も大切な一歩は提案21に賛成票を投じることです。」UNITE HERE Local 11、共同代表、Ada Briceño

「ホームレス問題は州に数十億ドルの費用を生み出します。この費用は納税者に転嫁されます。提案21では、家族が自宅を維持することで納税者のお金を節約します。」Jamie Court、代表、Consumer Watchdog

California州には提案21が必要

提案 21に賛成票を投じて、家族の自宅を守りましょう！

詳しくは[Yeson21CA.org](#)をご覧ください。

DAVID CAMPOS、議長

San Francisco民主党

ERNIE POWELL

Social Security Works

JAMIE COURT、代表

Consumer Watchdog